# 白石小学校だより

平成２８年度　第６号　１０月３日
山口市立白石小学校　児童数６８２名
山口市白石一丁目１０番１号　TEL 083-922-0063

学校教育目標　『夢に向かって、一人ひとりが輝く白石小学校児童の育成』～日本一笑顔の多い学校！～


## 「白石小のこどもたち」

校　長　　澄　川　忠　男

９月１７日に行われた秋季大運動会では、台風の合間の晴天の中、保護者の皆様、地域の皆様のおかげで無事に実施することができました。当日は、児童一人ひとりのがんばりと同時に「日本一笑顔の多い学校！」として、たくさんの笑顔を見ていただけたと思います。各学年の子ども達と教職員の努力の結果です。ありがとうございました。

また、前日準備から後片付けまで、たくさんの皆様のご協力があり、白石の底力を示していただきました。重ねてお礼を申し上げます。余談ですが、何人かの保護者の方や地域の方から「校長の話が良かった！」とお褒めいただきました。「短くて良かった！」（笑）とのことです。『短い話で分かりやすく！』をこれからも心掛けたいと思います。

さて、今月は「白石小のこどもたち」と題して、４月に６年生を対象に行われた『全国学力・学習状況調査」の結果から、白石小学校の現在の姿や課題、対応策などの概要をお知らせしようと思います。（６年生の保護者の皆様には、別途詳しい冊子をお配りしております。）

| | 平均正答率（%） | | |
|---|---|---|---|
| | 白石小 | 山口県 | 全国 |
| 国語Ａ | **８１．７** | ７４．６ | ７２．９ |
| 国語Ｂ | **７１．３** | ５８．７ | ５７．８ |
| 算数Ａ | **８７．７** | ７８．４ | ７７．６ |
| 算数Ｂ | **５６．５** | ４８．１ | ４７．２ |

Ａ問題：基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

Ｂ問題：基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

### １　本調査の目的

◎　全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

◎　教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◎　学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

### ２　本校の結果

上記の表の通りで、山口県・全国の平均正答率を大きく上回っております。学校全体としては大変良い傾向にあると思いますが、一方で気を付けておきたいことがあります。

調査結果は学力の一部分を正答率で表したものであり、個人個人の状況をしっかり把握し､個人の課題把握と改善に役立てるための調査であるということです。

この結果に、一喜一憂するのではなく、日頃の授業の中で、一人ひとりの課題が克服されるような指導をこれからも心掛けたいと思っております。

## ３　本校の全体の課題

**国語科の課題**　・グラフを基に、分かったことを的確に書くこと（45.7%）

⇒今後の取組　◎必要な情報を収集、発信する活動の充実を図る。

**算数科の課題**　・割合の問題（56.2%）　・図形の問題（24.8%・8.6%）

⇒今後の取組　◎示された情報から割合を正しく捉え、図などを用い具体的に理解することができるようにする。

◎図形の学習に関しては、具体物を操作したりICT機器を使って、視覚的支援を効果的に取り入れながら理解を深める。

## ４　本校児童の特徴

ご家庭の方々や地域の方々と共有し、共に取り組んでいかなければならないと考えているのは、質問紙調査で浮かび上がってきた課題等です。

以下に、本校の良さと課題をまとめています。

**朝食、就寝時刻、起床時刻等、家庭のご協力により、生活習慣がしっかり身についている児童が多いが、寝る時刻が遅い児童が多い。**

**月～金の一日あたりのテレビゲームや映像メディア（テレビやビデオ）に費やす時間は少ない割に、ニュースを見たり、新聞を読んだりするなど、世の中の情報には興味をもっている児童が多い。**

**学習塾で学習する児童が多い。**
**土曜日や日曜日や学校が休みの日には、学習時間として活用している児童が多い。**
**また、昼休みや放課後、学校が休みの日に、図書室や図書館に通っている児童も多い。**
**一方、自分で計画を立てて学習することが苦手である傾向が見られる。**

**ものごとを最後までやり遂げた後の達成感を味わっている児童は多いが、失敗を恐れず挑戦しようとする「チャレンジ精神」が弱いことがうかがえる。**

**地域の行事に参加している児童は多いが、地域のボランティア活動にはそれほど多くの児童は参加していないことがうかがえる。**
**また、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童は多いが、人が困っているときに進んで助けているという児童は少ないことがうかがえる。**
**学校のきまりを守っていない児童が多い。**
**家の人と学校での出来事をしっかり話している児童が多く、基本的な生活習慣同様、児童の生活や学びを支える温かい家庭が築かれていることがうかがえる。**

## ５　気になる部分の肯定回答の割合

| 質問事項（回答は４段階で、上位１段階の合計を肯定回答とする） | 肯定回答の割合（%） | | |
|---|---|---|---|
| | 白石小 | 山口県 | 全国 |
| 家で、自分で計画を立てて勉強していますか。 | １６．７ | ２７．５ | ２６．７ |
| 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。 | ４４．４ | ４７．３ | ３６．２ |
| 人が困っているとき進んで助けますか。 | ３０．６ | ３８．１ | ３７．６ |
| 学校のきまりを守っていますか。 | ３１．５ | ５０．８ | ４２．９ |
| 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。 | １７．６ | ２５．７ | ２５．３ |

## ６　白石中学校との比較

白石中学校の結果と見比べてみると、学力面では小・中学校共に山口県・全国の平均正答率を大きく上回っております。

質問紙調査の結果も、傾向はよく似ていることがわかりました。その中で、若干の違いがある部分は以下の通りです。

白石小学校が高い傾向にある質問

- **友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意ですか。**

白石中学校が高い傾向にある質問

- **家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。**
- **地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。**

## ７　今後に向けて

**★　自ら計画を立てて学習する習慣が身についていないことから、自ら学ぶという意味を今一度考えさせ、自らの問題意識のもと、見通しをもった学びができるように指導していく。**

**★　きまりを守るという規範意識が低い。また、ボランティア活動への参加が少なく、困ったときに進んで人を助ける意識も低いことから、週1時間の道徳や様々な体験活動を中心に、道徳的心情を養い、道徳的実践力を高めていく。**

**★　失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦するチャレンジ精神が弱いことから、意図的にチャレンジできる場を設定したり、達成の喜びを共に味わう中で価値付けたりしていく。**

小・中学校９年間の学びと育ちを意識して、これからも引き続き学習に力を入れていきたいと考えています。

また、中学校はＪＲＣ活動として、ボランティア活動が盛んですが、小学校でも地域社会との関わりを意識して、できる限りそのような場が設定できるようにしていきたいと考えています。その際、中学校と合同で行っている奉仕活動などへの参加も増えるよう呼びかけたいと思います。

そして、チャレンジ精神の醸成については、小学校段階から積極的に様々なチャレンジの場の提供をしていき、中学校へとつなげていきたいと思います。